

平成18年度 第4学年カリキュラム

学級目標 子ども像 重点課題	元気 集中 思いやり みんなでつくる4年生											
	聴き合う子			ちがいを認めて助け合う子			あきらめない子			学期 評価 点数		
月	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	二学期 評価 点数			
学校行事等	始業式 入学式 1年生を迎え絵	家庭訪問 バス遠足 修学旅行 参観日	参観日 社会見学	期末懇談会 終業式	始業式 大運動会 なかよし遠足 (田代小交流遠足)	三世代福刈り 長門市陸上記録会 参観日	各課エコー ふれあい参観日(4輪)	持久走大会 期末懇談会 終業式	始業式 参観日			
国語	二つのお願い 手紙を書く 10 漢字の組み立て 2 (書)はじめに 3	かむ;この力 9 漢字の広場 2 春の歌 2 漢字辞典の使い方 5 (書)点画の押し方 交わり方を知る 3	新編 漢字になろう いろ いろな行方 16 漢字の広場 2 ローマ字 ローマ字がえり 4 (書)画間を知る 3	白川あし本は友達 本の さかひ方 17 漢字の広場 2 (書)文字の組み立て方を知る 3	漢字の なみくらと 15 漢字の筆順 字形との関 係を知ろう 4	1に部分の筆順 漢字の筆順 3 一つの花 12 文のつなび 3 漢字の根と方向を知ろう 3	漢字の広場 2 漢字の根と平仮名の筆 順を知る 3	いろいろな意味をもつ言 語 生で見つめて・歌やグ ラフに表せる 15 漢字の根と平仮名の筆 順を知る 3	91			
社会	4 住みよいらしくをつく る... 2 1 入居 1 入居 17	- ごみのしよ理と利用	2 水はどこから 14	- 水はどこから	5 きらびにたつわなが い... 2 1 入居 1 入居 7	2 山ぶくに広がる水 9	3 のこしはもの つたえ たいもの 6	6 わたしたちの眼 26) 1 東の橋子 2 1	26			
算数	1 大丸 9 2 円と球 10	3 計算 14 暗算 2	4 およその数 10 くらと算数 1	5 折れ線グラフ どのようにかわるかな 3	6 三角形 10 ふしめ 2	7 計算 2 B	8 計算 6 線分のたんけん 1	9 小数 10 整理の仕方 6	11			
理科	1 生きものを調べよう 春 7	2 電池のはたらきを調 べよう 16	3 生きものを調べよ (夏) 5	3 星や月 16 自由研究 3	4 とじこめた空気や水を おいてみよう 5	5 星や月 生きものを調べよう 4 わたしたちの野暮 1	6 温度を測ろう 2 5 温度を測ろう 2 変化を調べよう 7	6 もののあたたまり方を 調べよう 7	31			
音楽	1 歌と楽器のひびきを合 わせよう... 8 さくらくらゐるんな木の 葉 4	2 歌のくににたんび 4	2 日本の音楽に親しもう 9 花が音頭 神田まやし 2 こきにぶし 3	3 まきばの朝 4	3 いまいるなごのちが いを感じる 音楽の音のカーニバル 5 たんび 3	4 ふしのとくちよを感じる 取ろう! 1 もみぢ 4 あゝあゝせつ 2	5 陽気な船長 あたらしく かおオーラ 5 3 曲の気分を感じる 8 あゝあゝせつ 2	6 つるぎの表 12 冬の歌 4	6 春 よう はし き 節			
図工	16 たしかめながら 2 17 さいりば 4	18 キラキラ絵 3 19 絵の具のふしぎ 2	21 コロコロするきょう かしらびゆつかん 4	20 ひもでつくる 2	22 わすれられない日 9	お話の世界 6	25 ワンダーランドへよう こそ 4 26 めがら生まれた 4	27 ゆめをひたす 4	28			
体育	鉄棒運動 8	走たんだん 7 スポーツテスト 2	タグラグビー 8 保体育ちゆく(練)わし 4 水泳 2	水泳 8	障害走(かけっこ)・ルー ル 6 ハートは走 3	鬼ダンス 4 マラソン 4	バスケットボール 5 2 持久走 ソフトボール 6	持久走 3	33			
道徳	あはれがきた(礼儀) 贈り物(感謝) 自分と相手(礼儀) 小さな心(礼儀) こんな学校にしたい (TV) 英語	だれもなし(礼儀) 学級(礼儀) 育てて(礼儀) たんじょうび(礼儀) 花をい(礼儀) リサイクル(礼儀) お話を(礼儀) やを(礼儀) 英語に親しもう	友の会(礼儀) ふたした(礼儀) に(礼儀) なが(礼儀) 新しい(礼儀) と(礼儀) 空(礼儀) ジャ(礼儀)	か(礼儀) 目(礼儀) 生(礼儀) ま(礼儀) 生(礼儀)	3か(礼儀) お(礼儀) ナ(礼儀)	ハ(礼儀) ド(礼儀) い(礼儀) 友(礼儀) 節(礼儀)	ま(礼儀) の(礼儀) ひ(礼儀) は(礼儀) ぼ(礼儀)	そ(礼儀) の(礼儀) の(礼儀)	わた ネコ			
総合的な学 習の時間	16 お年寄りと仲良(なる) 21) 秋祭り	代表委員会(学校生活)	代表委員会(運動会スロ ーガン)	代表委員会(全校献金)	代表委員会(学校生活)	代表委員会(全校集 会)	全校集会(代表委員 会) 献金 全校集会(献金) 全校集会(献金) 全校集会(献金)	お(礼儀) の(礼儀) の(礼儀)	52			
児童会活動	1年生を迎えよう 係委員会を決めよう	学年目標・学級のきまり 遠足について話し合 う	むし歯の予防治療 1 宿習学習の進め方 1	1学期の反省をしよう 1 夏休みの過ごし方 1	2学期のかたわて 0.9 2学期について話し合 う	目の病気 予防 1 鼻の病気 1	全校集会(代表委員 会) 献金 全校集会(献金) 全校集会(献金)	お(礼儀) の(礼儀) の(礼儀)	3 学 級 評 価			
学級活動	1年生を迎えよう 係委員会を決めよう	学年目標・学級のきまり 遠足について話し合 う	むし歯の予防治療 1 宿習学習の進め方 1	1学期の反省をしよう 1 夏休みの過ごし方 1	2学期のかたわて 0.9 2学期について話し合 う	目の病気 予防 1 鼻の病気 1	全校集会(代表委員 会) 献金 全校集会(献金) 全校集会(献金)	お(礼儀) の(礼儀) の(礼儀)	13			
朝・帰りの会	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな	健康 フリーク 心の みんな の みんな			
その他	協力して行事の準備や片 付けをしようのひび(全 校体育)大掃除(和太鼓)年 間活動 地区児童会	行事の持つ意味をしよう 遠足について話し合 う	遠慮を覚えて食べよう バランスのよい行事をと ろう 地区児童会(地区奉仕作 業)	バランスのよい行事をと ろう のひび(全 校体育)大掃除(和太鼓)年 間活動 地区児童会(地区奉仕作 業)	止し(礼儀) につ(礼儀) 援(礼儀) 運(礼儀) 合(礼儀)	読文化に関心をもち たい	行事の準備や片付けを しようのひび(全 校体育)大掃除(和太鼓)年 間活動 地区児童会	行事の準備や片付けを しようのひび(全 校体育)大掃除(和太鼓)年 間活動 地区児童会	健康 フリーク 心の みんな の みんな			

3 ミクロ・マクロの見方で自校のカリキュラムを点検する

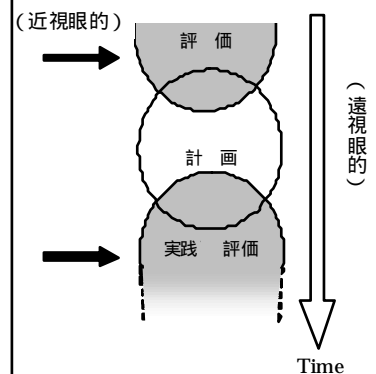
- 子どもの姿を点から線へとつなく -

2007.2.14 校内研修資料から

1 ミクロ・マクロ的に見る必要性

学級づくり(保健室経営)も授業づくりも、これまでの子どもの姿を見て、また今日の子どもの姿を見極めながら、どんな子どもに育てたいか、方向性を定める必要がある。それは、今日という点をみる近視眼的(ミクロ)な見方、これからどのようにするかという線としてみる遠視眼的マクロな見方とも言えそうである。

現在、研究紀要の執筆中だと推察するが、この中に点を連続とする子どもの姿がほしい。昨年度の紀要は研究授業の指導案がいきなり掲載されている。研究主題を受け、担任(担当)として、どのような学びを創る意思決定のページがない。また、指導計画や指導案を載せる



意味はなんだろうか。その二つと実践のずれを研究するなら価値がある。指導計画や指導案を指導の実際とし事実を載せるべきである。

我々の取組は、研究主題の対してあくまでも1年間の研究である。研究授業は、その中のひとつの点に近い。単元を通して、その点を自ら増やし、さらに生活や他の教科などをつなぎ、線として研究成果を載せなければ授業も変わらなければ子どもも変わらない。

今からは、このミクロとマクロの両眼を持ち合わせていかなければ点だけの授業では、勝負できないと考える。

2 各学年カリキュラムの点検

実施カリキュラムを完成させる時期がきた。A3版1枚に収めたカリキュラムに実践をもとに来年度カリキュラムとしていく作業である。

まず、時数のことである。例えば、4～7月の合計が1学期の時数になっているか。当然、1～3学期の合計が年間時数となる。学期の予定時数は道徳の時数＝週数となるので、例えば、社会は週2時間であれば、 $2(\text{時間}) \times 11(\text{週}) = 22$ 時間が分母となる予定時数となる。そして実時数が分子となり、達成率が分かる。

また、学級活動は、35時間(1年生34時間)であるから、1学期が週数11週であれば、1学期は11時間分の題材がくる。その際、学校としての内容のバランスが問われる。領域ごとの時間は、標準時間を越えてもよいが、本校としてその超過時間が分かるようにしたい。

また、教科内や領域間の単元や題材の関連化・重点化は、ふるさと向津具を学びのステージにする観点から大いに進めて欲しい。

今年度の実施カリキュラムは、来年度のカリキュラムとなる。より良いものを創り、次年度に託すことになる。と同時に、学級でつないで欲しいことや継続して欲しいことをまとめることもつながる学びには必要なことである。

第 学年 カリキュラム

18年度末


学級目標等										
月	年間 時数	4月	5月	6月	7月	時一 学期		時二 学期		時三 学期
学校行事等										
教 科	国語	235				74				
	社会	70				22				
	算数	150				46				
	道徳	35				11				
学級活動		35				11				

当然、単元への時間のかけ方は変わる。子どもをみて、柔軟に対応していく時数も書くとよい。

3 子どもの事実から変更する指導計画

なぜ、学習指導案が必要なのか。参観者の先生方に、単元(題材)への考え方や本時の授業イメージをできるだけ詳細に伝える役目がある。また、子どもたちの本時の実際と教師の支援とのズレやねじれなどを研究の対象として、授業力向上の資料とする考え方もあろう。さらには、自分の覚書的な使い方も考えられる。

(1) 子どもの意識を中核にした主体的な学びの構想


第〇学年 〇〇科(道徳)学習指導案
〇年〇組 指導者 〇〇〇〇〇

研究課題

本時や本次あるいは本単元で目指す子供の姿を今年度の研究サブテーマから求め、その姿に迫るため指導者は何が必要だと考えているかがわかること。
(例、～する中で、～していくには、どのような支援をすればよいか。3～4行で端的に)

1 単元名(主題名, 題材名)

授業参観の視点を明確にしたり研究協議を焦点化したりするために、必ず書くようにする。

2 単元(主題, 題材)設定の理由

学校教育目標や研究主題の達成を目的として研究課題で表現している子供の姿を追求しなければならない理由が、子供観・教材観・指導観(道徳は子供観・価値観・資料観・指導観)という観点を通して分かるように書く。

- 子供観 本単元につながる学習経験や興味・関心からみた実態や学習の仕方、研究主題・サブテーマにかかわること等の子供のレディネスをできるだけプラス思考で記述する。また、子供観を初めに書く意味を考えると、以下の教材観・指導観に児童を主体にする考えが書かれることが大切である。
- 教材観 ここでは、材を教材・学習材に変換させる時の指導者の基本的な考え方が明確に書かれていることが望ましい。各学年の発達特性を加味しながら、理解させたい基礎的・基本的事項や育てたい能力・態度をどのように考えているかを記述する。とりわけ、本単元がもつ価値や意味を子供の側で考えたい。
- 指導観 研究課題に対して指導者が答えだと考えていることやその答えを導いたわけを書く。つまり、主体的な学びを保障したり、本単元を通して発揮させたい資質や能力を生み出したりする工夫・支援を中心に示す。また、本時や単元の流れにならないように注意する。

3 目標

- 各教科等の特徴づける観点から、教師の立場で知識・理解目標とともに能力・態度目標を設定する。
- 主体的な学習を支援するというとらえ方から、語尾は「～できるようにする。」としたい。

TTで対応する場合は連名にし、後述でのかかりが分かるよう工夫する。

ここでは、学習指導を教師の側で語ることを前提にしている。つまり、指導者が授業に臨む構えであり、計画書である。

研究課題は、大切な事項であり、授業者の研究への意思決定となり得る。もちろん、書かなくてもよい学校もあるが、授業者としては心がけてほしい。

単元については、この3つの観点から書くことが望まれる。再度、観とは何か、それぞれに何を書くのかを確認したい。文章量は、ほぼ同量がよい。これらの観点からの記述ではない学校もある。

安易に、教師用指導書の単元の目標を写してほしくない。よく評価の4観点から書くが、評価をするために目標を立てるのかという考え方もできる。あくまでも、指導要領の目標の構造から知識・理解目標と能力・態度目標の2文で表現したい。